



# 会報

## WEEKLY REPORT

2024-25 R.I.会長

ステファニー A. アーチック

第2500地区第6分区帯広北ロータリークラブ

会長/村上道隆

副会長/石割昭浩

幹事/中島慎也

[四つのテスト]1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

### 第3142回 例会報告

2024.11.22

- 例会日/金曜日 (12:30~13:30)
- 例会場/ホテル日航ノースランド帯広
- 事務局/帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F  
TEL 0155-25-7347

■点鐘 村上道隆 会長

■開会宣言 曾我浩昌 SAA

■ロータリーソング (それでこそロータリー)

■ゲスト紹介

公益財団法人とかち財団 理事長 金山紀久様  
事業創発グループ 課長 高橋司様

■会食

■会長挨拶 村上道隆 会長



皆さんこんにちは

本日のプログラムは、公益財団法人とかち財団事業創発グループ高橋課長をお迎えし、十勝ロータリー奨学会委員会の卓話を「とかち財団 起業家育成奨学金」と題してお話を頂くことになっています。

覚えていますか、8月9日の例会時に大谷高校のインターアクトがゲストで来られた際に、会長挨拶で紹介しましたが、皆さんの記憶からはすでにきれいに削除されていると思いますが思い出してください。「稗貫会員の紹介で「十勝高校生団体can-pass」という団体のことです。十勝管内の高校生で組織している団体の、十勝を盛り上げるため、高校生目線で十勝の課題について足を使って歩き回り洗い出し、その解決に向けて高校生が行動を起こすという「Tokachi EGGs」プログラムです。と紹介しました。その「とかちエッグス」を支援しているのが金山理事長のとかち財団です。もしかしてそのことも卓話の中で触れていただけたかと思えます。

また、皆さん昨日の勝毎見ましたか、北海道産業貢献賞の表彰式の記事です。十勝から5人表彰され、当クラブ副会長の石割会員が、卓越した技能者として受賞していました。改めて石割会員はすごい職人なんだ、北クラブはそんな職業奉仕の方の集まりなんだと記事を見て感じました。本日は出張で例会は欠席と連絡を受けていますが、次回の例会で多額のニコニコをいただけると期待しています。

皆さんもいい意味で新聞をにぎわしていただき、できればロータリークラブの認知を高めていただけるようお願いしまして、本日の会長挨拶とします。

■会務報告 中島慎也 幹事

皆さんこんにちは、帯広北RC関連分のみ報告とします。来週11月29日(金)の例会は休会といたしま



す。オリエンテーション開催のご案内、11月29日(金)午後5時30分から午後7時まで会場はとかちプラザ3階特別会議室となっています。参加される方は忘れずに来ていただ

ける様をお願いします。年次総会開催のご案内12月6日(金)午後0時30分この例会中に行います。年末家族例会開催のご案内12月12日(木)午後6時30分ホテル日航ノースランド帯広で開催いたします。次に先月の頭から皆さんにお願いをしていた令和6年9月能登半島豪雨災害の義援金についてですが今月一杯で締切りとさせていただきます。実質、今日が皆さんにお願いできる最後の機会になりますが、まだ寄付されていない方はご協力をお願いいたします。次に国際親善市民の夕べという毎年開催されているワインパーティーが「とかち館」で11月30日(土)に開催されます。海外の方と交流したい方、ワインを飲みたい方がいらっしゃいましたら、私の方でチケット5枚預かっていますので申し出て下さい。以上で会務報告を終わります。

■委員会報告 親睦家族委員会 高田義久 委員長



皆さんこんにちは、来月12日開催のクリスマスパーティーの締め切りが11月25日(月)までとなっていますので、出欠のご回答をいただきます様お願いいたします。

■ポール・ハリス・フェロープラス5認証の贈呈



対象者 荒木樹 会長エレクト  
皆さんこんにちは、今回ポール・ハリス・フェロープラス5、5回目ということでいただきました。これは先週、工藤会員が卓話でご説明いただきましたロータリー財団の寄付に対する認証です。改めてご説明いたしますと累計1,000ドルを財団に寄付しますとポール・ハリス・フェローの認証をいただき、その後さらに1,000ドルの寄付ごとにこの認証をいただく仕組みとなっています。現在北クラブからは皆さんの会費の中から年間5,000円を財団に寄付しています。ただ昨今の円安の影響もありまして年間5,000円の財団寄付では、1ドル150円で換算して30年かけても1,000ドルに到達しないという厳しい状況です。ですから最初にポール・ハリス・フェローの認証を得るためには年会費とは別の寄付を皆さまからいただかないと達成は非常に難しい状況です。帯広北クラ



ブの年間寄付額は他のクラブと比較して十分な金額とは言えません。先週に話がありました富良野クラブが今年日本一となった話で、富良野クラブの方々からお話を伺ったところ会員全員から年間100ドルを寄付として集めているということでございました。決してパストガバナー一人だけが多額の寄付をただけではないということが判りました。最後に寄付の方法ですが皆さんほとんど現金で行われていると思いますが、私は毎月クレジットカードで寄付しています。Myロータリーから登録して寄付するという方法で一度登録すると月1,000円でも可能で年間12,000円になれば100ドルに達します。もし登録方法が判らなければ協力させていただきますので、皆さん今後とも協力をお願いいたします。

#### ■ニコニコボックスの発表 中島 慎也 幹事

石岡 幸雄 会員 近間 政美 会員

松本 健春 会員

#### ■プログラム 十勝ロータリー奨学会委員会

【とかち財団 起業家育成奨学金について】

公益財団法人とかち財団

事業創発グループ 課長 高橋 司 様

皆さん改めましてこんにちは、公益財団法人とかち財団の高橋と申します。本日は貴重なお時間をいただき誠にありがとうございます。ロータリークラブさんでも奨学金の活動をされていると伺っておりますけれども、本日は我々とかち財団が実施しております学生起業家育成奨学金についてご紹介させていただこうと思っております。よろしく願いいたします。奨学金の説明の前に改めましてとかち財団について少しだけご紹介させていただきます。我々十勝19市町村の産業振興のプラットフォームでございます。事業は主に三つありまして1つが食品技術の支援です。十勝の豊富な資源を活用した商品の開発の支援あるいは成分分析や加工製造に関する技術的なサポートを行っております。そして情報技術支援です。こちらは農業機械ですとか食品の加工機械、このような機械系のものづくりのサポートを行っております。画像解析ですとか機械の自動化みたいなサポートなども行っております。本日ご紹介させていただくのが事業創発の支援でございます。我々とかち財団が目指す将来像として十勝の地域産業は農業が核となっていて比較的顕著な農業の部分、今ある産業と新たな事業の交わりというところを多く作っていきこうという取り組みをしております。今ある産業と新しい事業が交わることで産業の裾野が拡大して、そこに新たな需要や利益が生まれるのではなかろうかと考えております。

また時代の変化が早いという部分でもこうした交わりが変化に対応しやすくなるのではないかと考えております。このような交わりをたくさん作っていくことで企業、創業、新しいビジネスを応援していくための場所としてLANDという場所を帯広駅前ふじもりさんの2つ駅側のところの並びにあります天光堂ビルにLANDと言う場所を開設しました。

2019年に開設いたしまして今年で丸5年というところ

です。ここを通じて新しいビジネスのサポートをしております。どのようなことを行っているかというところを少しご紹介しますと本日お話しさせていただく学生の企業の支援からスタートアップの支援と地域企業の成長支援まで各ステージに応じたサポートを行っております。

若年層のビジネス人材の育成、起業、創業期のサポート、補助金の実施とかビジネスの相談所の開設あるいはビジネスコーディネーション等も行っています。成長期・成熟期といったところだと逆にこのような部分は我々のサポートがなくても進んでいく段階と思うのですが、さらに成長を測る皆さんのための補助金、ビジネスマッチング、コーディネーションなども行っております。

そしてステージ共通の部分として事業相談への対応やLANDのご利用ができるようになっております。本日のお話ですけれども若年層ビジネス人材育成に我々とかち財団取組んでおります。何故取組んでいるのかと言いますと持続的な地域の未来のためです。先ほど会長からご紹介いただいた十勝EGGsという高校生の取り組みも後ほど少しお話しさせていただきます。

グラウンドサークルという主に大学生を中心とした取り組みともう一つが今日の本題である学生起業家育成奨学金です。毎年3月から4月にかけて募集しています。そもそも事業の目的としては十勝の地域経済の発展に寄与する次世代の企業家人材の発掘および学生起業家の輩出を目的に起業を目指す学生に対しビジネスプランの磨き上げる支援を通じた事業創発人材育成および奨学金の給付を行っているというところなんです。概要としては起業を目指す全国の学生です。期間としては5ヶ月間7月から11月です。金額としては月額4万円かける5ヶ月間、合計20万円で返済不要の奨学金です。

全国を対象にしていますが我々やはり十勝の19市町村の産業振興のための財団法人ですので、対象のビジネスプランに関しては十勝に関わることを条件としております。十勝を拠点として事業を起こすビジネスプランである、あるいは十勝と深く関わっていく事業の内容である、または十勝の地域資源を利用したプラン、十勝管内の事業者との事業連携を行うプラン、十勝の地域特性を活かしたプラン、それらに該当した上で十勝において実証実験を行うプランを対象としております。

これまでどの様な採択者がいたかと言うと今年までの年度において合計34名の学生さんを採択しております。帯広畜産大学はじめ北海道大学、慶應義塾大学などなど全国各地からの学生さんから申請があり採択をしておりました今年度に関しましては3月から4月まで募集をしまして6月下旬に選考が終わり、今まさにビジネスプランの磨き上げを行っているというところなんです。今年は起業家の卵3名に奨学金を給付しながらビジネスプランの磨き上げを行っております。

今年は帯広畜産大学から2名、北海道大学大学院から1名採択をしておまして、1人はタイから帯広畜産大学に來ている留学生の方が十勝で自分の思うビジネス



プランを実現して起業したいという思いを持って申請をしていただいております。このタイの学生さんに関しては十勝地域の食と観光を紹介することを目的としたTokachi journey boxという食のギフトボックスのようなもので、こちらの制作、販売というところを目指しております。資料の上の帯広畜産大学の方は留学生として畜大にきているガーナの方と繋がりの中でガーナの課題解決というところを十勝と結びつけながらビジネスを展開していきたいということで、今活動をされています。

これまでどんな方が起業しているのかというところでありませけれども、丁度昨年奨学金の採択者の方で小樽商科大学の学生さんがいましたが、もう一人の方と一緒に昆布を活用した飼料や肥料の開発を行う法人を今年広尾町に設立しました。今年はさらにこの事業の開発実証が進んで、実際の売り上げに繋がっていくのではないかと我々も期待をしています。

続きまして、この奨学金を含めた若年層のビジネス人材の育成の取組みを少しご紹介いたします。

一つが奨学金を申請する学生さんというのが本気で起業したいという思いを持った学生さんが対象ですけれどもいきなり起業を考えていない、でも関心がある学生さんを盛り上げることを目的としたLANDサークルを昨年立ち上げて実施しております。これは若年層のビジネス人材育成と起業を目指す学生層の拡大というところが目的です。この中ではビジネススキルの習得プログラムですとか他の大学さんと連携したプログラムを実施してまして、現在26名のメンバーが参加しています。

次にもう一つの取組みでありますTokachi EGGsです。皆さまの中にも企業協賛等でご協力いただいている方もいらっしゃるかもしれません。ありがとうございます。今年で4回目の実施になっておりまして、元々高校生を対象にしたプログラムをやっていたわけではなかったのですが、高校生の方からある日突然保護者が来て、LANDと一緒にこういうことができないだろうかということで企画を持ち込んだ高校生がいました。話を聞いてみると非常に地域にとってもプラスであるし我々が考えている若年層の人材育成というところに合致するというので、そこから高校生主体とした取組みではありますが、それをサポートする形で関わっています。

これは高校生を対象とした課題発見解決プログラムで4日間の期間でフィールドワークが議論を通じて地域の課題を発見して課題に対する解決策をチームごとにまとめて発表するというプログラムであります。非常にこのようなプログラムは続いているということで地域の高校の中でも探究学習という授業などが盛んになってきており、高校生も非常に元気になってきているなという印象を持っています。

こういった学生、若年層のビジネス人材育成の取組みの一つとして、今年初めて学生ビジネスイベントを開催いたします。TOMOSHIBI〜灯し火〜というイベント名称です。来月の21日(土)に平原通り小劇

場を会場にしながら十勝管内の大学、短大、専門学校生 中高生などを対象として起業家のキーノートスピーチ、本日ご紹介のLAND奨学金の採択者のピッチ、ビジネスグランプリなどを予定しています。

このようなイベントを通じて十勝管内の学生さんに対して起業意欲を喚起していきたいということと地域全体で若年層の人材育成というところの機運醸成を図ることに繋がっていきたくと思っています。このような学生、若年層のビジネス人材育成を通じてTokachi EGGsですとかランドサークル、奨学金、こういったものからこのイベントというところに集約をさせながら、この中には事業者さんにも是非関心 共感をいただける方に関わっていただきたいと思っておりますし、自治体や様々な支援機関、十勝にたくさんございます。こういった皆さまと一緒に協力し合いながら持続的な経済成長 活力ある地域社会の形成というところに向けて、我々の取組みである起業意欲の喚起やビジネススキル、知識や若年層を向上させたいというところに繋がっていきたくと考えております。

これらの取組みを通じて、我々とかち財団としては挑戦する人が溢れる活力ある十勝を実現したいと思っています。食品ですとか農業機械などのものづくり支援ですとか情報技術などの開発支援、十勝の既存産業と新しい産業を掛け合わせですとか、地域内外の事業者さん同士が交わるビジネスコミュニティの形成促進などにも取り組んでおります。

産業や起業の機会を創出して挑戦しやすい十勝づくりに取り組んでまいりたいという風に考えております。最後に少し付録的な形ですけれども、とかち財団がどのような形でご利用いただいているかというところも少しご紹介させていただきます。2019年の8月にオープンしまして今年3月まで累計18,000人ほどの皆さんにご利用いただいております。事業相談の件数は年々増えておりまして昨年度は522件の事業相談に対応してきました。相談の内容としてはやはり起業、創業に関する相談が一番多いです。その他事業構想を整理したいですとか事業計画や収支計画の策定、支援なども行っています。取組みとして考えているものに対して活用できる補助金がないでしょうかというご相談も多いです。昨年の起業者数今までで我々がサポートした中で言いますと65名の起業者さんがいます。去年は24件の事業者さんが生まれたというところですよ。

起業者さんの連携を目的としたコーディネーションも行っておりまして、イベントなどを通じた連携コーディネーションの他、去年は155件のコーディネーションを行いました。例えば食品製造業の方と輸出業の方のコーディネーションですとか情報通信業同士の事業者さんと連携コーディネーションですとか、あるいは起業される方と専門家の方のコーディネーション、こういったことも行っております。

こういったLANDを通じて先ほどの若年層のビジネス人材育成のほか企業支援、スタートアップ支援、事業連携の促進、ビジネスコミュニティの形成などに取り組んでおります。とかち財団が取り組む事業総括





### ビジネスコーディネーション

連携コーディネーション **155件**  
主なコーディネーション例

- 事業連携
- 人材育成
- 起業支援
- スタートアップ支援
- ビジネスコミュニティ形成

イベントを通じて連携コーディネーション

### LANDの事業概要

挑戦する人があふれる「活力ある十勝」の実現を目指して

起業支援  
スタートアップ支援  
事業連携促進  
ビジネスコミュニティ形成  
ビジネス人材育成

### とちかちビジネスチャレンジ補助金

(決4年より、十勝人チャレンジ、アワードスター、もものつくりの3種助成を統合)

募集期間	募集額	応募者数
1. (旧) 決4年より もものつくり	297万円	297名
2. (旧) a-Cube アワードスター	300万円	300名
3. (旧) 決4年より アワードスター	178万円	178名
4. (旧) 決4年より アワードスター	343万円	343名

総募集額：278万円(決5:17年)  
募集期間：2024.3.1~4.8  
募集要項：2024.4.8~5.15(締切)  
事業実施期間：2024.6月(交付決定後)~2025.1.31

### LANDの事業概要

連携による事業拡大・課題解決

#### ②事業連携の促進

連携コーディネーション | ビジスマッチング | 十勝アグリ&フードサミット

・北海道宇宙サミット  
・押忍!ビジネスお悩み解決道場

### 事業連携促進の取り組み

KAIKON -開眼- 十勝発。未来を切り開くビジネスイベント

十勝発。未来を切り開くビジネスイベント

フィールドキャラバン | カンファレンス

DATE: 2024.10.18 (日) 17:30  
会場: KAIKON TOKACHI CARAVAN

### 事業連携促進の取り組み

LAND-STARTUP HOKKAIDO, 帯広市

帯広市スタートアップの発展を促すための新たな企画「Tokachi Innovation Caravan」

2024年2月25日、十勝の事業者と帯広市スタートアップの事業者が一堂に会し、「Tokachi Innovation Caravan」を開催しました。

### 事業連携事例

日本甜菜製糖×NoMy 戦略提携発表!

日本甜菜製糖株式会社 × NoMy

十勝の主要産物「甜菜」を使用した砂糖製造をおこなう日本甜菜製糖と、ITソリューションを提供するNoMyが、2024年4月22日に戦略的提携を発表!

### LANDの事業概要

切磋琢磨するビジネスの仲間

#### ③ビジネスコミュニティ形成

LAND大交流会 | 共創イベント開催 | 十勝19市町マップ会議

・十勝アグリ&フードサミット/北海道宇宙サミット  
・LANDサークル  
・とちかち・イノベーション・プログラム (帯広信用金庫・十勝19市町村)

### INFORMATION

十勝の事業者インタビュー「LANDSCAPE」

●十勝の事業者の注目取り組みをLANDコーディネーターが取材し、「LANDのホームページ」LANDSCAPEに掲載中!

●掲載をきっかけに他社からの問い合わせが増え、取引につながるケースも出ています!

●事業の大小に関わらず、ビジネス面で十勝の強みにつながる取り組みも後で紹介していきます!

### follow us!

LAND SNS毎日更新中!

Instagram | Facebook | X

### 「十勝」は19市町村を含む地域の名称

構成自治体：1市16町2村  
面積：10,831㎢  
人口：32.8万人  
事業所数：15,741 (事業所数/100)

### 十勝の成り立ち

開拓の始まり | 農機時代の転換

1883年 | 1897年 | 1955年 | 現在

農機の導入 | 現在

### 数字で見る十勝の農業

耕地面積 (1,000㎡)

小麦: 十勝 31,271 (31.7%) | 国内 106,475 (35.4%)  
馬鈴しょ: 十勝 3,403 (3.4%) | 国内 130,415 (38.4%)

乳用牛・肉用牛: 十勝 171,755 (4.4%) | 国内 3,900,000 (9.5%)  
てん菜: 十勝 4,121 (0.4%) | 国内 1,000,000 (0.3%)  
小豆: 十勝 6,471 (0.6%) | 国内 1,000,000 (0.3%)

### 産業別就業者数

十勝 | 国内

合計 28,478人 | 合計 6,724万人

第一産業 107,621人 (67%) | 第二産業 4,910万人 (77%) | 第三産業 227万人 (3%)

### 2021 (R3) 年 都道府県別 農業産出額

都道府県	農業産出額 (億円)
1 北海道	13,108
2 鹿児島	4,997
3 茨城	4,263
4 宮崎	3,678
5 熊本	3,477
6 千葉	3,471
7 青森	3,277
8 愛知	2,922
9 栃木	2,693
10 岩手	2,651

十勝19市町村 3,735億円  
畑作: 1,484億円  
畜産: 2,251億円

### 製造出荷額(十勝)

1 食料品製造業 3,152億5,306万円  
2 電子部品・デバイス・電子回路製造業 537億7,510万円  
3 木材・木製品製造業 (家具を除く) 220億8,651万円

4 生産用機械器具製造業 187億6,692万円  
5 飲料・たばこ・飼料製造業 183億3,532万円  
6 窯業・土石製品製造業 132億9,236万円

### 十勝の人口推移

十勝管内の人口推移 (1) | 十勝管内の人口推移 (2)

2025年人口推定: 312,000人

### 十勝の人口

十勝管内の人口推移 (1) | 十勝管内の人口推移 (2)

2025年人口推定: 312,000人

■ 次週のプログラム予定

「休会」

■ 閉会宣言 曾我 浩昌 SAA

■ 点鐘 村上 道隆 会長

例会案内

〈月曜日〉 広尾RC: 日高信金広尾支店 〈水曜日〉 帯広RC: ホテル日航ノースランド

〈火曜日〉 芽室RC: めむろーどセミナー 帯広東RC: ホテル日航ノースランド

〈木曜日〉 足寄RC: 足寄銀河ホール21  
清水RC: 清水町中央公民館  
帯広西RC: 北海道ホテル

■ 出席報告 / 伊藤 隆志 出席委員長

会員数	計算に用いる会員数	ホームクラブ出席数	メイクアップ	欠席	出席率
					53.4%